

太田研究室

[都市の骨格と都市再生]

生産技術研究所 第5部(人間・社会系)
Department of Human and Social Systems

都市再生学

工学系研究科建築学専攻

都市の骨格と都市再生

City Structure and Urban Regeneration

1990年代よりヨーロッパを中心に行われてきた数多くの都市再生プロジェクトには、明快な方法論がある。それは自動車によってスプロールした都市を見直し、歩行者が楽しく、安全に歩ける歩行者空間をまちの骨格に据え、都市のコンパクト化を図ろうというものである。太田研究室では、建築と街路を結合したネットワークの分析を通して都市の骨格の抽出を試みるとともに、建築規模・用途が骨格にどのような影響を与えるかを研究している。

重み付きネットワークの媒介中心性分布から見た都市の骨格
マグネット施設の配置による過疎化した街の骨格再生
被災した漁業集落の新たな骨格形成
東京の繁华街に都市の骨格を見る



図1. 重み付き媒介中心性による銀座の都市の骨格の抽出



図3. 被災漁業集落におけるまちづくり計画案

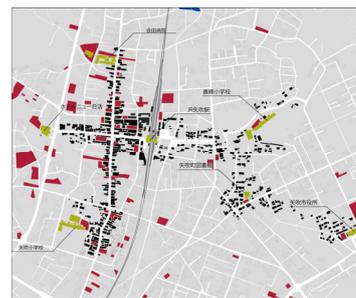


図5. 地方小都市における骨格再生案

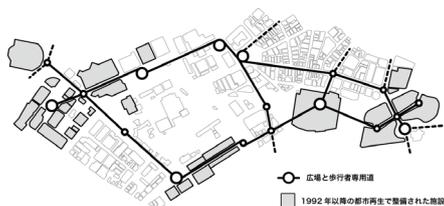


図2. バーミンガムの都市再生における都市の骨格づくり



図4. 被災漁業集落復興案のドローイング



図6. 新たな建築とEVの関係性の提案